

令和 2 年 1 月 1 日
一般財団法人日本データ通信協会

当協会コーポレートロゴの変更について

一般財団法人日本データ通信協会（東京都豊島区巣鴨 2-11-1、理事長 酒井善則）はコーポレートロゴを変更することを決定いたしましたので、以下の通りお知らせいたします。令和 2 年 1 月より、新しいロゴに順次切り替えてまいります。

1. 変更の理由

日本データ通信協会は、1973 年の設立より一貫してデータ通信の健全な発展を図り、我が国の経済社会への貢献を目的として事業を展開し、近年は「情報通信に関する人材育成」および「情報セキュリティの確保」に関する事業を展開しています。

近年、社会的基盤としての通信システムの重要性が一層増し、より安定・高品質・高セキュリティが求められ、また、通信を支えるインフラ技術が大きく進展変化しています。この流れは、今後も加速するものと考えられます。

この状況を踏まえ、私どもでは人材育成事業の一層の強化やセキュリティ確保の取り組みが社会的使命であると考え、協会として初心を忘れることなく真摯に 2 つの事業に取り組むことを表明するため、通称として長く親しまれてきた「デ協」をシンボルマークに据えました。力強く事業推進に立ち向かう意思をしめすロゴへと一新いたします。

2 新コーポレートロゴ



3 新ロゴに込めた思い

長年通称として親しまれている「デ協」をシンボルとしてデザインし、2色のラインは「情報セキュリティの確保」と「情報通信に関する人材育成」という事業の2つの柱を表してしています。

太い直線だけで構成されたデザインは、電気通信分野における安心・信頼とその未来を担う当協会の使命を表現しています。

4 適用時期

令和2年1月より順次、変更してまいります。